

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 内容を整理して言葉を選び、必要なことを書く力。 文章を書く上で適切な助詞を用いて書く力。 文学的文章において心情を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導、作文指導等、「書く」機会を意識的に増やすよう心掛ける。 ペアやグループで登場人物の心情について話し合う機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 要約、意見文、感想文など、書く機会を増やし、互いに読み合うことで、様々な考えを述べるようになってきた。 ペアや班で意見を述べ合う機会を増やしたことで、気兼ねなくスムーズに話し合いが行われている。伝え合う機会を、継続して増やしていった。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算問題の定着 家庭学習の習慣化 数学的な見方・考え方の問題を解く力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算問題に数多く取り組ませる。 話し合い活動に繋がるような課題を設定し、考えを互いに伝え、共有する場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着に差が出てしまっている。基本問題を繰り返し解かせ、できるようにするという、自己肯定感をもたせたい。 来年度はタブレットを活用し、話し合い活動に繋げる指導を行う。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで考えようとする姿勢の育成 表現力及び資料活用能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料等を活用するとともに、感染症対策を十分に図りながら、小集団による活動の場を増やす。 	<p>今年度は、授業内容の進捗の関係もあり、小集団活動の場があまり設定できなかったが、他との関わりは、学びを深められるので、今後も活かしたい。また多様な資料は、今後ICT機器を活用したい。</p>
理科	<ul style="list-style-type: none"> 関心をもって意欲的に学習に取り組み、課題を解決しようとする姿勢を育成する。 基礎的、基本的な知識、理解力を身につける。 観察、実験の結果から考察する力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象を話題にとりあげて、学習への関心を高め、グループ活動をとり入れ自ら考えて解決する機会を増やす。 復習ワークシートへのとり組みや、小テストをくり返し行って知識の定着をはかり、理解を深めていく。 考察する項目を明確にし、表現のしかたを例示して一人ひとりがきちんと考えて記入できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象と比べてとり上げた話題が、生徒が関心をもっていないことが多くあった。授業での学習内容が生活の中の事象と結びつくようにしていく必要がある。 復習ワークシートへのとり組みを徹底させていく。 グループでの話し合い活動により、一人ひとり考察することができるようになった。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、歌唱を伴う授業の際の制限や、マスク着用での歌唱における、生徒の発声法の確認の不十分さや、生徒の表現意欲低下。 教え合うペアワークの実施の際の感染予防策。 クラス単位でしか歌ったことのないことにより、校歌などの歌唱意識の低下。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱に関しては、生徒間の距離を保ち歌唱することや、フェイスマスクを着用して歌唱することなどの具体策はあるが、そこまでのリスクを抱えながら取り組むべきではないと考えるため、現在のところ改善するつもりはない。 	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用での歌唱しか行わなかったため、発音や呼吸、音感などの基礎的技術の伸長が乏しい。コロナ禍における学習計画の変更、歌唱や器楽活動などの制限により、新たな授業の組み立て方や、評価の見方が発見できた。 今後も感染症予防対策が学習活動に継続して求められる可能性が高いので、新学習指導要領に則り授業を展開していく。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 根底により良いものを作り上げたいという意思があるが、授業時間の中で完成が難しい生徒と、時間がかからないが工夫や深まりを加えられない生徒がおり、同じ課題に取り組むことに例年以上の難しさを感じる。 日常生活や成長の過程で、用具などの取り扱い経験が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補習により進捗の差を埋めていくことには限界も感じるため、短いスパンでの目標を提示しながら、目標を達することができるように支える。 正しい使い方をすることで成功する制作の経験を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 一度に多くの生徒を対象にすることは難しいが、作品の完成に向けてここに応じた制作時間の確保には努めることができた。今年度は上級生の作品を見る機会が少なかったため、可能な限り記録に残して次年度に資料として生かしたい。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識があると消極的になってしまう。 全体的に運動能力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> 優しい課題から与えていき、達成感や自分から取り組めるように丁寧にポイントを指導する。 補強やトレーニングを授業内で取り入れ、体力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつではあるが友達と一緒に取り組む姿勢が見られてきた。 まだまだ運動能力が低いので、さまざまな運動に取り組ませていく必要がある。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> (技術) 時間と自分の力量を把握したうえで作業を進めることができない生徒がいる。 安全面の意識 (家庭科) 自らの体験から学習内容を理解し活用したり工夫できるようにする。授業を受ける意欲はある。 作品製作意欲はあっても技術が伴わない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> (技術) タイマーを使用した。マグネットにより進捗状況表を活用した。 保護メガネ着用の徹底。(穴あけ・湯の流し込み) (家庭科) 自ら考えたり、工夫しようとする時に適切な助言を与えるようにする。 生徒間の意見交換や工夫点を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> <技術科> 左記のタイマーを意識しながら授業に参加し、片付けや、手洗い、清掃など動き出す場面が見受けられた。 保護メガネの徹底を目指したが、マスクの常時着用により、曇ってしまうことから着用が難しくなった。 (家庭科) 袋の製作や刺し子の実習を通して自分で計画的に集中して取り組む事ができるようになった。衣生活の基礎的な知識ももてるようになり関心があると
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な英語表現を学び、生徒同士またはALTとの会話の中で活用し話すことが出来る力の向上。 英語に苦手意識を持つのではなく楽しみながら授業に参加できる態度の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回、教科書で取り扱う表現に関連した文章を音読し生徒が基本的な表現を理解できるよう工夫する。 英語の曲を授業で取り扱い楽しみながら授業に参加できるようにする。 生徒の苦手意識を軽減させるため、何度も繰り返し練習できるための機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が言語活動に積極的に参加し、英語力の向上につなげることができた。 生徒同士やALTとの英語でのやり取りはまだ苦手意識を持っている生徒もいることから今後も継続的に言語活動を行っていきたいと考えている。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習等の中止により、例年通りの学習ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しく課題を設けて学習をすすめる。今年度は、SDGsについての学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて学習を進めたことで、広い視野を持つことができた。また、社会へ働きかける活動を企画・運営・実行と進めることで、自ら課題を持ち行動する力を養えた。

道徳	・新型コロナウイルスの影響を受けたからこそ考えさせたい内容項目を取り上げる。	・様々な内容項目と絡めて授業で取り上げる。	・校内研修で学んだ様々な手法を授業に取り入れることで、生徒の考えを深めることができた。 ・新型コロナウイルスと共に生活していることを意識して授業を行えた。
----	--	-----------------------	--